

2027年度卒後研修会のご案内

卒後研修の締めくくりには、本学を卒業し各分野で活躍されている同窓生の講師陣がご登壇されます。

【第1回】2027年4月17日（土曜日）

演題：未定

講師：武庫川大学薬学部教授 川添 哲嗣先生(15期生)



川添哲嗣先生は、武庫川女子大学薬学部教授として、臨床薬学、老年薬学、在宅医療、緩和ケア、医薬品の適正使用と安全性に関する教育研究に幅広く取り組んでおられます。神戸学院大学を卒業後、企業勤務、病院薬剤師、保険薬局薬剤師として多様な実務経験を重ね、地域医療や在宅医療の現場に長年携わってこられました。2014年からは病院薬剤師として勤務され、2022年まで高知大学医学部附属病院薬剤部に在籍、その後は徳島文理大学香川薬学部准教授を経て、2025年4月より武庫川女子大学薬学部教授に就任されています。

また、2025年3月には高知大学より医学博士の学位を取得され、臨床と研究の両面から薬学教育の発展に尽力しておられます。日本老年薬学会理事、日本緩和医療薬学会評議員、全国薬剤師・在宅療養支援連絡会副会長なども務められ、各種学会や講演会でも幅広くご活躍です。

【第2回】2027年5月15日（土曜日）

演題：未定

講師：九州大学病院教授・薬剤部長 内田 まよこ先生（24期生）



内田まよこ先生は、1999年3月に本学薬学部を卒業後、同大学院薬学研究科に進学し、2001年3月に修了された、本学ゆかりの深い先生です。その後、国立大学法人九州大学病院に入職し、薬剤師として臨床現場における経験を積まれました。実務と並行して研究にも取り組み、2013年9月に九州大学で薬学博士を取得されています。その後は大阪薬科大学講師、同志社女子大学教授を歴任され、2024年10月より九州大学病院 教授・薬剤部長として、臨床、教育、研究、組織運営の各面で広く活躍しておられます。こうした着実な歩みと顕著な功績が高く評価され、第7回森わさ賞*1を受賞されました。母校で学んだ卒業生として第一線で道を切り拓いてこられたその姿は、在学生や若手薬剤師にとって大きな励みとなっています。

＊1）森わさ賞
神戸学院大学において、校祖・森わさの志を受け継ぎ、建学の精神に基づいて、研究、教育、社会における活動で顕著な功績を挙げた女性の教職員、卒業生、修了生を顕彰する賞として2019年度に創設されました。

【第3回】2027年6月19日（土曜日）

演題：未定

講師：武庫川大学薬学部特任教授 辻本勉先生（6期生）



辻本勉先生は、神戸学院大学薬学部をご卒業後、長年にわたり病院薬剤師として臨床の最前線に立たれてきました。兵庫県立尼崎総合医療センター薬剤部長をはじめとする県立病院の要職を歴任し、高度化するチーム医療の体制構築と薬剤師の職能向上に大きく貢献されています。ご専門は糖尿病医療学および医療薬学で、この分野の薬物治療・療養指導における第一人者です。薬剤師が専門性を発揮できる基盤を作るべく「日本くすりと糖尿病学会」の立ち上げから深く参画し、副理事長や理事として全国的なネットワーク構築やスキルアップに尽力されました。

また、馬場茂明記念 Diabetes Care 研究所理事長を務め、2019年には糖尿病療養指導における最高栄誉「JADEC Award for Excellent Diabetes Educator in Pharmacist」を受賞されています。

現在は武庫川女子大学薬学部で特任教授を務め、豊かな人間性と高い使命感、生命の尊さを深く認識する次世代の育成に情熱を注がれています。本日は、豊富な臨床経験と糖尿病医療への深い知見に基づき、私たちが健やかな生活を送るために今最も必要な視点についてお話しいたします。